問 18　貴施設では、「介護プロフェッショナルのキャリア段位制度※」を導入していますか。（１つを選択）

※「介護プロフェッショナルのキャリア段位制度」とは、介護職員の職業能力（実践的スキル）を評価する仕組みであり、介護事業所ごとにバラバラでない共通の評価基準をつくり、人材育成を目指す制度です。

1．すでに導入しており、評価者（アセッサー）登録者がいる
2．すでに導入しており、レベル認定に取り組む、またはレベル認定を受けた介護職員がいる
3．導入を予定している
4．当面導入の予定はない
5．この制度を知らない

問 19　LIFE 関連加算を算定可能な通所介護・通所リハビリテーション・認知症対応型通所介護・地域密着型通所介護・小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護事業所におうかがいします。（対象外の事業所は、問 20 へお進みください。）

貴事業所では、ＬＩＦＥ関連加算を算定していますか。（１つを選択）

1．はい　→問 19-２へ
2．いいえ　→問 19-１へ

問 19-１　算定していない事業所におうかがいします。

貴事業所で、ＬＩＦＥの活用において課題だと感じていることはありますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．LIFE への入力の手間（時間の確保）
2．LIFE や LIFE 関連加算についての職員への教育
3．LIFE 関連加算の理解
4．フィードバックの活用方法がわからない
5．LIFE の操作方法の理解
6．LIFE 入力項目に関する実地指導への不安
7．LIFE の入力や LIFE 関連加算算定のための人員が確保できない
8．PC や介護記録ソフトなどの LIFE への入力機器の整備
9．その他（　　）
10．課題なし

問 19-２　算定している事業所におうかがいします。

ＬＩＦＥをどのように活用していますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．自施設の利用者像や課題の把握
2．ケアの実施状況の把握
3．ケアの結果の把握
4．ケアの在り方の見直し
5．利用者や家族への説明
6．施設内の管理指標としての活用
7．職員間での情報共有
8．活用していない

問 20　以下の取組について、貴施設が実施しているものはどれですか。（あてはまるものすべてを選択）

1．事業所内のわかりやすい場所に運営規程を掲示している
2．事業所独自の方法で、定期的に自らのサービスの質の評価を行っている
3．利用者からサービスの質に関する評価を受けている
4．第三者機関によりサービスの質に関する評価を受けている（介護サービス情報の公表を除く）
5．居宅サービス事業の基本的な業務に関する手引書（マニュアル等文書化されたもの）を整備している
6．苦情・相談対応窓口（担当など）を設置している
7．苦情・相談への対応に関する手続き等を定めた手引書（マニュアル等文書化されたもの）を整備している
8．業務上知り得た利用者や家族の個人情報に関する守秘義務を職員に徹底している
9．サービス提供中に事故が発生した場合の対応手順、責任者等を定めた手引書（マニュアル等文書化されたもの）を整備している
10．感染症の予防や発生した場合の蔓延防止に関する手引書（マニュアル等文書化されたもの）を整備している
11．職員に対する健康診断を定期的に実施している
12．職員に対する感染症の予防接種を定期的に実施している
13．上記について行っているものはない

問 21　貴施設における職員の研修参加状況についておうかがいします。
過去１年間（令和６年 10 月１日～令和７年９月 30 日）の職員の研修参加状況について、あてはまるものすべてを選択してください。なお、常勤と非常勤の区別は、雇用形態によります。

１．常勤職員の参加があった	→問 21-１・２へ
２．非常勤（常勤以外）職員の参加があった	
３．参加した職員はいない	→問 22 へ

問 21-１　「常勤職員または非常勤職員の参加があった」と答えた事業所におうかがいします。
過去１年間（令和６年 10 月１日～令和７年９月 30 日）で、職員はどのような研修に参加しましたか。（あてはまるものすべてを選択）

１．介護技術・知識
２．介護保険制度や関係法令
３．安全対策（事故時の応急措置等）、接遇・マナー
４．情報共有、記録・報告方法
５．コンプライアンス・プライバシー保護
６．事例検討
７．資格取得のための研修
８．その他（　　）
９．いずれも行っていない

問 21-２　過去１年間（令和６年 10 月１日～令和７年９月 30 日）で、職員の研修への参加状況はどの程度ですか。（１つを選択）

１．すべての職員が何らかの研修に参加している
２．職員の７～９割程度が何らかの研修に参加している
３．職員の４～６割程度が何らかの研修に参加している
４．職員の２～３割程度が何らかの研修に参加している
５．職員の１割程度、あるいはそれ以下しか、研修に参加していない

問 22　貴施設では、事故や「ヒヤリ・ハット事例」については、ひと月に何件くらいありますか。（１つを選択、数字を入力）

１．ひと月〔　　〕件くらい
２．発生していない
３．把握していない

問 23　貴施設では、事故や「ヒヤリ・ハット事例」に関する周知、または研修等を行っていますか。（あてはまるものすべてを選択）

１．定期的に資料の回覧などで周知をして注意喚起を行っている
２．定期的に会議・打合せで議題として提示して注意喚起を行っている
３．定期的に研修等を行い注意喚起を行っている
４．特に対応していない

問 24　貴施設では、利用者からの「セクハラ」「いやがらせ・不当な要求・暴力」の発生については、ひと月に何件くらいありますか。（①②それぞれ１つを選択、数字を入力）

	１ ある	２ 発生していない	３ 把握していない
① セクハラ	１．〔　　〕件くらい	２	３
② いやがらせ・不当な要求・暴力	１．〔　　〕件くらい	２	３

問 25　貴施設で「セクハラ」の対応策として、具体的に取り組んでいることは何ですか。（あてはまるものすべてを選択）

１．「セクハラ」に対する事業者としての基本方針の決定
２．基本方針の職員、利用者及び家族等への周知
３．マニュアル等の作成
４．報告・相談しやすい窓口の設置
５．介護保険サービスの業務範囲等へのしっかりとした理解と統一に向けた取組
６．対応策の策定とＰＤＣＡによる更新
７．特にない

問 26　貴施設で「いやがらせ・不当な要求・暴力」の対応策として、具体的に取り組んでいることは何ですか。（あてはまるものすべてを選択）

1．「いやがらせ・不当な要求・暴力」に対する事業者としての基本方針の決定
2．基本方針の職員、利用者及び家族等への周知
3．マニュアル等の作成
4．報告・相談しやすい窓口の設置
5．介護保険サービスの業務範囲等へのしっかりとした理解と統一に向けた取組
6．対応策の策定とＰＤＣＡによる更新
7．特にない

問 27　介護・福祉現場で働く職員が、利用者・家族等からカスタマーハラスメントを受けた場合の相談窓口（川崎市介護・障害福祉サービス事業所向けカスタマーハラスメント相談窓口）があることを知っていますか。（１つを選択）

1．知っている　　2．知らない

問 28　貴施設では、虐待の発生については、把握していますか。（１つを選択）

1．虐待の発生を把握している
2．虐待は発生していない
3．虐待の有無を把握していない

問 29　貴施設でこれまで確認された虐待事例の原因についてお答えください。（あてはまるものすべてを選択）

1．現場に対する認識不足等による指導不足
2．介護方針の不明確さ
3．ケア体制が不十分
4．職員育成が不十分
5．その他（　　）
6．虐待は発生していない・把握していない

問 30　貴施設で虐待の対応策として、具体的に取り組んでいることは何ですか。（あてはまるものすべてを選択）

1．虐待に対する事業者としての基本方針の決定
2．基本方針の職員、利用者及び家族等への周知
3．マニュアル等の作成
4．報告・相談しやすい窓口の設置
5．介護保険サービスの業務範囲等へのしっかりとした理解と統一に向けた取組
6．対応策の策定とＰＤＣＡによる更新
7．特にない

問 31　利用者の支援において、①課題別の委員会やワーキンググループをつくったり、②担当者をおいたり、③このような体制をとらないまでも重点的に推進しているなど、貴施設が力を入れているのは次のうちどれですか。（あてはまるものすべてを選択）

1．利用者の生活環境（アメニティー）の快適さと衛生面への配慮
2．利用者の好み、季節、地域の文化などを考慮した食生活の工夫
3．利用者の身の回りの行為（ＡＤＬ）が安心・快適に行える環境づくり
4．利用者が身の回りの行為にできる限り自立できることを目的とした支援
5．余暇時間を楽しむための趣味・レクリエーション活動とその支援
6．プライバシー保護のための工夫や配慮
7．利用者や家族からの相談ごとに対する相談援助体制
8．身体拘束防止に向けた取組
9．施設内虐待防止に向けた取組
10．ボランティアの積極的な受け入れと地域への働きかけ
11．利用者と地域住民との交流の支援
12．その他（　　）
13．特にない

問 32　貴施設では、身体拘束をしないケアに向けてどのような取組を行っていますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．職員を増員し、見守りを強化する
2．巡回の回数を多くする
3．職員の目の届く場所で過ごしてもらう
4．リハビリやレクリエーション等、拘束が必要な状態にならないための予防的ケアを充実させる
5．ベッド・車いす等を安全に使用できるように福祉用具の工夫をしている
6．徘徊防止のための設備面の工夫・整備をしている
7．職員の意識改革に努めている
8．身体拘束防止のための勉強会や研修の開催や参加をしている
9．身体拘束防止のための検討会や委員会を開いている
10．その他（　　）
11．特に取組を行っていない

問 33　貴施設では、次の介護福祉機器のうち導入しているものはありますか。
（あてはまるものすべてを選択）

1．移動用リフト（立位補助機〔スタンディングマシーン〕を含む）
2．自動車用車いすリフト（福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ）
3．エアーマット（体位変換機能を有するもののみ）
4．ベッド（傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く）
5．座面昇降機能付き車いす
6．特殊浴槽（移動用リフトと共に稼働するもの、側面が開閉可能なもの）
7．ストレッチャー（入浴用に使用するものを含む）
8．シャワーキャリー
9．昇降装置（人の移動に使用するものに限る）
10．車いす体重計
11．各種介護ロボット（具体的な名称：　　）
12．その他介護福祉機器（具体的な名称：　　）
13．いずれも導入していない

問 34　次の介護福祉機器のうち、導入の有無にかかわらず、従業員の身体的負担軽減や腰痛予防、緩和等に効果があると思われるものはどれですか。
（あてはまるものすべてを選択）

1．移動用リフト（立位補助機〔スタンディングマシーン〕を含む）
2．自動車用車いすリフト（福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ）
3．エアーマット（体位変換機能を有するもののみ）
4．ベッド（傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く）
5．座面昇降機能付き車いす
6．特殊浴槽（移動用リフトと共に稼働するもの、側面が開閉可能なもの）
7．ストレッチャー（入浴用に使用するものを含む）
8．シャワーキャリー
9．昇降装置（人の移動に使用するものに限る）
10．車いす体重計
11．各種介護ロボット（具体的な名称：　　）
12．その他介護福祉機器（具体的な名称：　　）
13．いずれも効果は期待できない

問 35　貴施設では、介護ロボットの導入予定がありますか。なお、介護ロボットの例については、問 35-１の選択肢を参照してください。（１つを選択）

1．すでに導入している　→問 35-１へ
2．導入を予定（検討）している　→問 35-１へ
3．導入の予定はない　→問 36 へ

問 35-１　**「１．すでに導入している」「２．導入を予定（検討）している」と答えた事業所におうかがいします。**

どのような介護ロボットが、介護職員の負担軽減に効果があると思いますか。
（あてはまるものすべてを選択）

1．介護する人が腰などにかかる負担を軽減するために装着する機器
2．要介護者を抱え上げ、ベッドや車いすなどへの移乗を補助する機器
3．外出する高齢者向けの電動アシスト付き手押し車
4．要介護者の排せつ物を自動的に処理する機器
5．センサーや通信機能を備え、要介護者の見守りを支援するためのシステム
6．癒しやセラピー効果を目的としたロボット
7．その他（　　）

問 36　貴施設では、職員の質の確保・向上を図るために、今後どのような視点を重視した取組が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．基本的な技術や実践的知識の向上
2．利用者の状態に応じた応用技術の向上
3．ケアマネジメント技術やアセスメント能力の向上
4．利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上
5．苦情や相談への対処能力の向上
6．処遇困難者への対処能力の向上
7．サービス提供者としての基本姿勢の徹底
8．制度に関する最新情報の取得
9．第三者評価の実施（介護サービス情報の公表を除く）
10．事業所内でのキャリアパスの構築
11．その他（　　）
12．特にない

事業展開における課題と要望についておうかがいします。

問 37　貴施設では、地域の中で次のような取組を行っていますか。
（あてはまるものすべてを選択）

1．介護保険外の生活支援サービスの提供
2．事業所の設備や建物等を地域に開放
3．祭りなどの地域行事に事業所として参加
4．町内会・自治会等にメンバーとして参加・日常的な関係づくり
5．民生委員、関係機関等とともに地域の見守りネットワークに参加
6．他の事業所等と連携した利用者の支援について手順やマニュアルを整備
7．地域や学校において介護や健康づくり等に関するセミナー・教室を開催・支援
8．介護者の集いを開催・支援
9．職場見学や職場体験・実習の受け入れ
10．ボランティアの受け入れ
11．生活・介護支援や見守りのためのボランティアの育成・組織化
12．いずれも行っていない

問 38　貴施設では、災害時の対策を実施・計画していますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．災害対策マニュアル等を作成している　→問 39 へ
2．災害時の備蓄対策をしている　→問 38-1 へ
3．施設の耐震対策（ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など）を実施している
4．防災訓練などで近隣の住民組織（町内会、自主防災組織）と連携したことがある
5．その他（　　）
6．特に何もしていない

→問 39 へ

問 38-1　「２．災害時の備蓄対策をしている」と答えた施設におうかがいします。
どのようなものをどのくらい備蓄していますか。
（あてはまるものすべてを選択、数字を入力）

1．利用者に使用する医薬品　→〔　　〕日分程度
2．利用者や従業員に対する食料・飲料水　→〔　　〕日分程度
3．救助用資器材
4．発電機
5．燃料
6．その他（　　）

問 39　令和９年度末までに、貴法人が川崎市内において拡充させたいと考えているサービス、あるいは新たに参入を予定しているサービスはありますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．居宅介護支援	16．短期入所療養介護
2．訪問介護	17．福祉用具貸与
3．夜間対応型訪問介護	18．認知症対応型共同生活介護
4．定期巡回・随時対応型訪問介護看護	19．特定施設入居者生活介護
5．訪問入浴介護	20．介護専用型特定施設入居者生活介護
6．訪問看護	21．介護老人福祉施設
7．訪問リハビリテーション	22．介護老人保健施設
8．居宅療養管理指導	23．介護医療院
9．小規模多機能型居宅介護	24．定員 30 人未満の介護老人福祉施設
10．看護小規模多機能型居宅介護	25．定員 30 人未満で介護専用型の特定施設
11．通所介護	26．介護予防サービス
12．療養通所介護	27．サービス付き高齢者向け住宅
13．認知症対応型通所介護	28．その他（　　）
14．通所リハビリテーション	29．川崎市内を範囲に参入意向のあるサービスはない
15．短期入所生活介護	30．未定である

問 40　貴施設には地域交流スペースはありますか。（１つを選択）

1．あり　→問 40-1・2へ　　2．なし　→問 41 へ

問 40-1　「１．あり」と答えた施設におうかがいします。
貴施設の地域交流スペースの使用頻度はどのくらいですか。（１つを選択）

1．１週間に２回以上
2．１週間に１回程度
3．２週間に１回程度
4．１か月に１回程度
5．ほとんどない（月１回より少ない）

問 40-2へ

問 40-2　「1．あり」と答えた施設におうかがいします。
貴施設の地域交流スペースの使用目的はどのようなものですか。
（あてはまるものすべてを選択）

1．地域のボランティアグループ等による活動
2．介護予防等に向けた活動（健康教室、ミニデイサービスなど）
3．地域住民との交流（食事会、催し物、地域のイベントなど）
4．会議（地域団体の会議・町内会等の活動の場など）
5．研修（地域住民等の外部者が参加可能なものに限る）
6．その他（　　）

問 41　貴施設において、事業を展開する上での問題点・課題はありますか。
（あてはまるものすべてを選択）

1．利用者の確保が困難
2．人材の確保が困難
3．従業員の雇用条件・福利厚生が不十分
4．事務など間接経費が高い
5．人件費が高い
6．経理・介護報酬請求事務など事務作業が多い
7．介護報酬が低い
8．介護報酬に反映されない業務が多い
9．運営・運転資金の確保が困難
10．事業所（営業拠点）の確保・維持が困難
11．サービス提供地域内に他の事業者が多すぎて競争が激しい
12．その他（　　）
13．特にない

問 42　川崎市内で施設サービス事業を展開する上で、川崎市に支援・充実してほしいと思うことはありますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．介護保険制度に関する最新・適切な情報の提供
2．川崎市の高齢者保健福祉施策・サービスに関する情報の提供
3．他の介護保険事業者に関する情報の提供
4．市の広報やホームページを活用した、事業所の効果的なＰＲの支援
5．事業者間の連携強化のための支援
6．ケアマネジャーやホームヘルパーなどサービス提供者養成の推進
7．ケアマネジャーやホームヘルパーなどサービス提供者の質の向上のための研修の実施
8．ケアマネジャーやサービス提供者のための相談窓口の設置
9．処遇困難者への対応
10．サービス利用者や家族の介護保険制度の理解向上に向けた取組
11．第２号被保険者の社会参加、就労・復職支援サービスの提供
12．医療・介護・福祉の連携、ネットワークづくり
13．その他（　　）
14．特にない

◎川崎市へのご要望・ご意見などがございましたら、自由にご記入ください。

以上でアンケート調査は終了です。
ご協力ありがとうございました。

川崎市
KAWASAKI CITY

4　介護労働者実態調査票

川崎市介護労働者実態調査
調査票

あなた自身についておうかがいします

問１　あなたの性別をお答えください。（１つを選択）

１．男性	２．女性

問２　あなたの令和７年 10 月１日現在の年齢をお答えください。（数字を入力）

［　　］歳（令和７年 10 月１日現在）

問３①　あなたの専修・専門学校を除く最終学歴を教えてください。（１つを選択）

１．中学校	４．高専、短大（介護福祉関係の学科）
２．高等学校（介護福祉関係の学科）	５．高専、短大（上記以外）
３．高等学校（上記以外）	６．大学・大学院（介護福祉関係の学科）
	７．大学・大学院（上記以外）

問３②　あなたは介護福祉関係の専修・専門学校を卒業しましたか。（１つを選択）

１．はい	２．いいえ

問４　あなたの配偶関係を教えてください。（１つを選択）

１．既婚	２．未婚	３．離死別

問５　あなたの家庭での主たる生計の維持者（世帯でもっとも生活費を負担している方）は誰ですか。（１つを選択）

１．自分（本人）	２．自分（本人）以外	３．生活費は折半等

問６　あなたは現在、育児※または家族介護※をしていますか。（１つを選択）

※ ここでの「育児」とは、小学校３年生以下のお子さんを養育することをいいます。

※ ここでの「介護」とは、ご自分や配偶者の両親または配偶者に対して行う、身体介助、施設や遠距離での介護に加え、定期的な声かけ（見守り）、食事のしたくや掃除、洗濯などの家事、通院の送迎や外出の手助け、入退院の手続きや金銭の管理などの「手助け」も含むものとします。

１．現在、育児をしている
２．現在、家族介護をしている
３．現在、育児と家族介護の両方をしている
４．この数年のうちに育児または家族介護を始める可能性がある
５．当面、育児も家族介護もする可能性がない

問７　すべての方におうかがいします。
将来、育児や家族介護に直面した場合、仕事を続けることができると思いますか。（現在育児や家族介護をしている方は、今後も両立できると思いますか。）（１つを選択）

１．続けることができると思う
２．続けられないと思う
３．わからない

現在の仕事（職種）についておうかがいします

問８　あなたの主な仕事(職種)は次のうちどれにあてはまりますか。（１つを選択）

※「１．訪問介護員」とは、介護保険法の指定を受けた訪問介護事業所で働き、高齢者等の家庭を訪問して家事等の生活援助、入浴などの身体介護を行う方をいいます。

※「２．介護職員」とは、訪問介護以外の介護保険の指定介護事業所で働き、直接介護を行う方をいいます。

※「６．ＰＴ・ＯＴ・ＳＴ等」とは、ＰＴ（理学療法士）、ＯＴ（作業療法士）、ＳＴ（言語聴覚士）等の機能訓練指導員をいいます。

１．訪問介護員	５．看護職員
２．介護職員	６．ＰＴ・ＯＴ・ＳＴ等
３．サービス提供責任者	７．介護支援専門員（ケアマネジャー）
４．生活相談員	８．その他（　　）

問９　あなたが現在持っている介護に関する資格等はどれにあてはまりますか。（あてはまるものすべてを選択）

※「１．認定介護福祉士」とは、一般社団法人認定介護福祉士認証・認定機構が認定したものをいいます。

１．認定介護福祉士	８．主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー）
２．介護福祉士	９．介護支援専門員（ケアマネジャー）
３．実務者研修	10．認定看護師・専門看護師
４．介護職員初任者研修	11．看護師・准看護師
５．介護職員基礎研修	12．PT・OT・ST
６．ホームヘルパー１級	13．社会福祉士
７．ホームヘルパー２級	14．精神保健福祉士
	15．１～14 の資格は持っていない

問 10　今後取りたい資格はありますか。（１つを選択）

１．ある　→問 10-１へ	２．ない　→問 11 へ

問 10-1　今後取りたい資格がある場合、その資格等はどれにあてはまりますか。（あてはまるものすべてを選択）

１．認定介護福祉士	７．認定看護師・専門看護師
２．介護福祉士	８．看護師・准看護師
３．実務者研修	９．PT・OT・ST
４．介護職員初任者研修	10．社会福祉士
５．主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー）	11．精神保健福祉士
６．介護支援専門員（ケアマネジャー）	12．１～11 以外の介護福祉関係の資格

問 11　あなたが現在の仕事（職種）を選んだ理由は次のうちどれにあてはまりますか。（あてはまるものすべてを選択、14 を選択した方は他の番号を選ばないでください）

１．働きがいのある仕事だと思ったから
２．今後もニーズが高まる仕事だから
３．人や社会の役に立ちたいから
４．生きがい・社会参加のため
５．お年寄りが好きだから
６．身近な人の介護の経験から
７．身近に介護関係の仕事をしている人がいたから
８．資格・技能が活かせるから
９．介護の知識や技能が身につくから
10．給与等の収入が多いから
11．自分や家族の都合のよい時間（日）に働けるから
12．他によい仕事がないため
13．その他（　　）
14．特に理由はない

問 12　「介護関係の仕事」の経験年数（令和７年 10 月１日現在）を、他の法人での経験も含めて記入してください。（数字を入力）

□　年　□　か月

問 13　いつ頃から介護の仕事に関心を持ち始めましたか。（１つを選択）

１．10 代	６．40 代前半
２．20 代前半	７．40 代後半
３．20 代後半	８．50 代前半
４．30 代前半	９．50 代後半以降
５．30 代後半	

問 14　学校卒業後、現在の仕事以外に収入を伴う仕事をしたことがありますか。（１つを選択）

１．ない　**→問 15 へ**	２．ある　**→問 14-1 へ**

問 14-1　これまでの勤務先で経験した仕事の内容は次のうちどれにあてはまりますか。（あてはまるものすべてを選択）

※「3．介護関係の仕事（施設系）」とは、施設サービス（特養、老健、介護医療院）、特定施設（有料老人ホーム・サ高住・養護老人ホーム・軽費老人ホーム）、グループホーム、短期入所を含みます。

※「4．介護関係の仕事（その他）」とは、多機能系、居宅介護支援、介護予防支援、福祉用具等、その他をいいます。

１．介護関係の仕事（訪問系）	５．介護以外の福祉関係の仕事
２．介護関係の仕事（通所系）	６．医療関係の仕事
３．介護関係の仕事（施設系）	７．介護・福祉・医療関係以外の仕事
４．介護関係の仕事（その他）	

問 14-2　問 14-1 で選んだ仕事のうち、<u>直前の仕事</u>（現在の仕事に就く前）はどれにあてはまりますか。（１つを選択）

１．介護関係の仕事（訪問系）	５．介護以外の福祉関係の仕事
２．介護関係の仕事（通所系）	６．医療関係の仕事
３．介護関係の仕事（施設系）	７．介護・福祉・医療関係以外の仕事
４．介護関係の仕事（その他）	

問 14-3　直前の勤務先の仕事についておうかがいします。直前の雇用形態は次のうちどれですか。（１つを選択）

１．正規職員	２．非正規職員	３．その他（　　）

問 14-4　直前の事業所に何年勤めましたか。（１つを選択）

１．３～４か月以下	３．１年程度	５．３年程度	７．５年以上
２．半年程度	４．２年程度	６．４年程度	

問 14-5　現在の仕事に就く前の「直前の仕事」をやめた理由は次のうちどれにあてはまりますか。（あてはまるものすべてを選択）

※「職場の人間関係」とは、上司、同僚、部下・後輩との人間関係をいいます。

※「カスタマー・ハラスメント」とは、顧客等（介護の場合利用者や家族）からの暴行、脅迫、ひどい暴言、不当な要求等の著しい迷惑行為をいいます。

１．人員整理・勧奨退職・法人解散・事業不振等のため
２．他に良い仕事・職場があったため
３．新しい資格を取ったから
４．収入が少なかったため
５．自分の将来の見込みが立たなかったため
６．自分に向かない仕事だったため
７．職場の人間関係※に問題があったため
８．カスタマー・ハラスメント※があったため
９．勤務先に仕事上の悩み事の相談ができなかったため
10．勤務先の事業理念や運営のあり方に不満があったため
11．家族の転職・転勤、または事業所の移転のため
12．定年・雇用契約の満了のため
13．病気・高齢のため
14．結婚・妊娠・出産・育児のため
15．家族の介護・看護のため
16．その他（　　）

<u>「７．職場の人間関係に問題があったため」または「10．勤務先の事業理念や運営のあり方に不満があったため」を選んだ方のうち、直前の仕事が介護関係の仕事であった方（問 14-2 で「１」～「４」のいずれかを選択した方）は、問 14-6、問 14-7 をお答えください。それ以外の方は問 15 へお進みください。</u>

問 14-５で、「７．職場の人間関係に問題があったため」を選んだ方のうち、直前の仕事が介護関係の仕事であった方（問 14-２で「１」～「４」のいずれかを選択した方）におうかがいします。

問 14-６　その「職場の人間関係の問題」とは具体的にどのような問題ですか。
（あてはまるものすべてを選択）

1．上司や先輩からの指導や言動がきつかったり、パワーハラスメントがあった
2．上司の業務指示が不明確、リーダーシップがなかった
3．同僚からのきつい言動・悪口・嫌がらせ等があった
4．職場で仕事のこと以外の会話がなかった
5．職場内の仲間はずれや、疎外感・孤独感を感じた
6．仕事の進め方に関する上司や同僚との意思疎通がうまくいかなかった
7．職場の人間からセクハラを受けた
8．仕事に対してやる気のない上司・先輩・同僚がいた
9．部下・後輩に対する指導が難しかった
10．その他（　　）

問 14-５で、「10. 勤務先の事業理念や運営のあり方に不満があったため」を選んだ方のうち、直前の仕事が介護関係の仕事であった方（問 14-２で「１」～「４」のいずれかを選択した方）におうかがいします。

問 14-７　その「理念や運営のあり方」の不満とは具体的にどのような不満ですか。
（あてはまるものすべてを選択）

※「介護の質の向上」とは、利用者に対して、尊厳確保・虐待防止、ＱＯＬ確保、自立支援に対する配慮等、質の高い介護サービスを提供することによって、その満足度を高めることをいいます。

1．介護の質の向上をさせる姿勢がなかった
2．介護の質の向上の手法・方向性が自分の考え方とは異なっていた
3．介護の質の向上の取組に対して職員の体制や処遇が追いつかなかった
4．仕事の仕方に関する職員の提案を、管理者が聞いてくれなかった
5．経営の効率性を過度に重視していた
6．無駄な業務が多く職員の業務量負担への配慮が弱かった
7．職場の人間関係の改善の取組をしてくれなかった
8．利用者や家族からのカスタマー・ハラスメントから守る取組をしてくれなかった
9．その他（　　）

現在勤務している事業所（法人）についておうかがいします

ここからはすべての方におうかがいします。

問 15　あなたが勤務している事業所の法人格（経営主体）は次のうちどれですか。（１つを選択）

1．民間企業（個人・株式会社等）
2．社会福祉協議会
3．上記２以外の社会福祉法人
4．医療法人
5．ＮＰＯ（特定非営利活動法人）
6．社団法人・財団法人
7．協同組合（農協、生協）
8．地方自治体（市区町村、広域連合を含む）
9．その他（　　）
10．わからない

問 16　あなたが勤務している事業所の従業員数は何人ですか。（１つを選択）

※ 正規職員以外のパート・登録職員等を含みますが、臨時職員（急な仕事のために臨時に雇用される人）は除きます。

1．１人（あなたのみ）
2．４人以下
3．５人～９人
4．10 人～19 人
5．20 人～49 人
6．50 人～99 人
7．100 人以上
8．わからない

問 17　同じ法人の中に、今勤務している事業所とは別の事業所がありますか。（１つを選択）

1．ある　→17-１へ
2．ない　→問 18 へ

問 17-１　法人全体の従業員数はおおよそ何人くらいですか。（１つを選択）

1．19 人以下
2．20 人～49 人
3．50 人～99 人
4．100 人～299 人
5．300 人～499 人
6．500 人以上
7．わからない

問 18　あなたが今勤務している事業所の主な介護サービスの種類は次のうちどれですか。
主な介護サービスの種類１つを選んでください。（１つを選択）

【居宅サービス】
1．訪問介護
2．訪問入浴介護
3．訪問看護
4．訪問リハビリテーション
5．居宅療養管理指導
6．通所介護
7．通所リハビリテーション
8．短期入所生活介護
9．短期入所療養介護
10．特定施設入居者生活介護
11．福祉用具貸与・特定福祉用具販売

【居宅介護支援】
12．居宅介護支援

【地域密着型サービス】
13．地域密着型通所介護
14．定期巡回・随時対応型訪問介護看護
15．夜間対応型訪問介護
16．認知症対応型通所介護
17．小規模多機能型居宅介護
18．看護小規模多機能型居宅介護
19．認知症対応型共同生活介護
20．地域密着型特定施設入居者生活介護
21．地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

【施設サービス】
22．介護老人福祉施設
23．介護老人保健施設
24．介護医療院

【その他】
25．介護保険以外のサービス
26．その他（　　）
27．わからない

問 19　現在の法人に就職した主なきっかけは次のうちどれですか。（１つを選択）
※「ＳＮＳ」とは、LINE、Ｘ（旧 Twitter）、Facebook、Instagram、YouTube など。

1．ハローワーク
2．川崎市福祉人材バンク（web 含む）
3．学校・養成施設等での進路指導
4．民間の職業紹介
5．友人・知人からの紹介
6．求人・就職情報誌
7．折込チラシ、新聞・雑誌の広告
8．求人情報サイト
9．法人または施設・事業所のホームページ
10．法人または施設・事業所が発信するＳＮＳ
11．就職セミナー、採用説明会
12．職場体験、職場実習やボランティア
13．介護職員の養成のための講座・研修を通じて施設・事業所を知った
14．施設・事業所からの就職の働きかけ
15．行政広報誌（市報、区報等）
16．その他（　　）

問 20　現在の法人に就職した理由は次のうちどれにあてはまりますか。
（あてはまるものすべてを選択、18 を選択した方は他の番号を選ばないでください）

【法人・事業所自体の条件】
1．地元での評判が良いため
2．法人の方針や理念に共感したため
3．経営が健全で将来的に安定しているため
4．通勤が便利だから

【労働条件】
5．賃金水準が比較的高いため
6．時間外労働が少ないため
7．有給休暇などの各種休暇の取得や勤務日時の変更をしやすいため

【仕事の内容】
8．質の高い介護を学べそうだったため
9．自分のやりたい介護ができそうだったため

【職場のコミュニケーションと環境】
10．職場の人間関係が良さそうだったため
11．事業所の設備・環境が働きやすそうだったため
12．介護ロボット・ＩＣＴ機器導入、業務改善等により業務負担の軽減を図っているため
13．仕事と育児や介護の両立の支援を充実させているため

【評価と能力開発】
14．事業所内でのキャリアアップの道筋を明確化しているため
15．能力や仕事ぶりを処遇に反映しているため
16．事業所内外での研修機会が充実しているため

17．その他（　　）
18．理由は特にない

勤務状況・勤務条件等についておうかがいします

問 21　あなたが今働いている法人での勤続年数（令和７年 10 月１日現在）はどれくらいですか。（数字を入力）

［　　］年［　　］か月

問 22　あなたの職位は次のうちどれにあてはまりますか。（１つを選択）
※「管理職」とは、「２．主任・（サブ）リーダーなど」を現場で統括している方をいいます。

1．管理職
2．主任・（サブ）リーダーなど職場のまとめ役
3．一般職・担当職

問 23　あなたは今後、より上位の職位を目指しますか。（１つを選択）

1．より上位の職位を目指す　　2．今のままでよい

問 24　あなたの雇用形態は次のうちどちらにあてはまりますか。（１つを選択）

1．正規職員（フルタイム）　→問 25 へ
2．正規職員（フルタイムではない）　→問 24-３・４へ
3．非正規職員（フルタイム）　→問 24-１・２へ
4．非正規職員（フルタイムではない）　→問 24-１・２・３・４へ

問 24-１　非正規職員の方にお聞きします。雇用期間に定めはありますか。（１つを選択）

1．雇用期間の定めあり
2．雇用期間の定めなし（定年までの雇用を含む）

問 24-２　非正規職員の方にお聞きします。今後、正規職員を希望しますか。（１つを選択）

1．はい　　2．いいえ

問 24-３　フルタイムではない方にお聞きします。あなたの就業形態は次のうちどれにあてはまりますか。（１つを選択）

1．短時間勤務で、勤務する日や時間があらかじめ定められている
2．短時間勤務で、勤務する日や時間が週または月ごとに変わる

問 24-４　フルタイムではない方にお聞きします。あなたが希望とする１週間の労働時間（残業を除く）は、今に比べて次のうちどれですか。（１つを選択）

1．今より長く働きたい　2．今の時間のまま　3．今より短く働きたい

問 25　あなたが勤務する職場での、通常の１週間（月曜日～日曜日）に働く日数及び時間数をおうかがいします。本調査を依頼された職場で、どのくらい働いていますか。
シフト勤務等で変動がある場合は、平均的な日数・時間をお答えください。（数字を入力）

①　１週間に働いた日数　［　　］日

②　１週間に働いた時間数　［　　］時間

※ 残業時間も含めた１週間の労働時間を入力してください。

③　うち、１週間の残業時間数　［　　］時間（１週間あたり）

※ 残業がない場合は「０」を入力してください。

問 26　年次有給休暇の取得状況についておうかがいします。
最近１年間に付与された年次有給休暇の日数（繰り越し日数を除く）及び取得（消化）日数をお答えください。
時間単位で取得した場合、合計時間数を日数換算してお答えください。（数字を入力）

①　新規付与日数　［　　］日　　②　取得（消化）日数　［　　］日

※ 繰り越し日数を除く

問 27　本調査を依頼された職場で、深夜勤務（夜 10 時～朝５時）はありますか。（１つを選択）

１．ある　→問 27-１、２、３へ　　２．ない　→問 28 へ

問 27-１　１か月あたり平均して何回の深夜勤務がありますか。（数字を入力）

※ 回数は、整数で入力してください。

１か月あたり　［　　］回

問 27-２　仮眠や休憩はとれますか。（１つを選択）

１．十分とれる　　２．ある程度とれる　　３．とれない

問 27-３　深夜勤務時には、何人の職員で、何人の入居者をみていますか。（数字を入力）

※ 通常月の平均の人数を、整数で入力してください。

職員　［　　］人で、　入居者　［　　］人

ここからはすべての方におうかがいします。

問 28　あなたが働く職場以外で、収入を伴う仕事をしていますか。
（あてはまるものすべてを選択）

１．していない
２．介護サービスの仕事をしている
３．介護サービス以外の仕事をしている

問 29　あなたの賃金の支払形態はどれですか。（１つを選択）

１．時間給　→問 29-１へ
２．日給　→問 29-２へ
３．月給
４．その他
→問 30 へ

問 29-１　１時間あたりの金額はいくらですか（数字を入力）

※ 従事する仕事の内容や時間帯によって金額が異なる場合は、基本となる金額の平均値をご記入ください。

１時間あたり　千［　　］円／時

問 29-２　１日あたりの金額はいくらですか（数字を入力）

※ 従事する仕事の内容や時間帯によって金額が異なる場合は、基本となる金額の平均値をご記入ください。

１日あたり　万　千［　　］円／日

問 30　あなたの通常月の税込み月収※はどのくらいですか。（数字を入力）

※ 賞与、残業代、休日出勤手当を除き、交通費等毎月決まって支給される各種手当を含む賃金額（税引前の総支給額）です。

平均月収（税引前の総支給額）　万　千［　　］円

問 31　賞与の状況について、あてはまるものはどれですか。（１つを選択）

1．制度として賞与の仕組みがある
2．経営状況によって支払われることもある
3．賞与はない
4．わからない

問 32　賃金や手当等についてどのような希望をお持ちですか。
（あてはまるものすべてを選択、12 を選択した方は他の番号を選ばないでください）

1．基本給の引き上げ
2．能力や仕事ぶりに応じた評価の実施
3．勤務年数に応じた評価の実施
4．資格手当の導入・引き上げ
5．役職手当の導入・引き上げ
6．早朝・夜間勤務手当の導入・引き上げ
7．通勤手当の導入・引き上げ
8．移動時間の労働時間への算入や移動手当の導入・引き上げ
9．賞与（ボーナス）の導入・引き上げ
10．連絡用の携帯電話の支給・通信費補助
11．その他（　　）
12．賃金や手当等についての希望はない

働く上での悩みや意識についておうかがいします

問 33　あなたが労働条件・仕事の負担について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか。（あてはまるものすべてを選択、20 を選択した方は他の番号を選ばないでください）

1．雇用が不安定である
2．正規職員になれない
3．人手が足りない
4．仕事内容のわりに賃金が低い
5．労働時間が不規則である
6．労働時間が長い
7．不払い残業がある・多い
8．休憩が取りにくい
9．有給休暇が取りにくい
10．精神的にきつい
11．業務に対する社会的評価が低い
12．キャリアアップの機会がない
13．夜間や深夜時間帯に何か起きるのではないかと不安がある
14．介護業務と医療行為の境目がわかりにくいため不安がある
15．身体的負担が大きい
16．健康面（新型コロナウイルス等の感染症、怪我）の不安がある
17．福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、施設の構造に不安がある
18．仕事中の怪我などへの補償がない
19．その他（　　）
20．労働条件・仕事の負担について特に悩み、不安、不満等は感じていない

問 34　あなたが利用者及び利用者の家族について、悩み、不安、不満等を感じていることは何ですか。
（あてはまるものすべてを選択、12 を選択した方は他の番号を選ばないでください）

1．利用者に適切なケアができているか不安がある
2．利用者は何をやってもらっても当然と思っている
3．利用者の行動が理解できずに対処方法がわからない
4．利用者と家族の希望が一致しない
5．利用者や、その家族との人間関係がうまくいかない
6．禁じられている医行為を求められる
7．（医行為以外で）定められたサービス以外の仕事を要求される
8．利用者の家族が必要なサポート・理解をしてくれない
9．良いと思ってやったことが利用者に理解されない
10．介護事故(転倒、誤嚥（ごえん）その他）で利用者に怪我をおわせてしまう不安がある
11．その他（　　）
12．利用者及びその家族について特に悩み、不安、不満等は感じていない

問 35　あなたは、過去１年間で仕事中に利用者やその家族から以下のようなことを受けたことがありましたか。
（あてはまるものすべてを選択、６を選択した方は他の番号を選ばないでください）

1．セクハラ（性的嫌がらせ）
2．暴力
3．暴言（直接的な言葉の暴力）
4．介護保険以外のサービスを求められた
5．その他（　　）
6．上記のような経験をしたことはない

問 36　あなたは、過去１年間で仕事中に職場の上司や先輩、同僚、部下・後輩から次のようなハラスメントを受けたことがありましたか。
（あてはまるものすべてを選択、８を選択した方は他の番号を選ばないでください）

1．暴行・傷害（身体的な攻撃）
2．脅迫・名誉毀損・侮辱・ひどい暴言（精神的な攻撃）
3．隔離・仲間外し・無視（人間関係からの切り離し）
4．業務上明らかに不要なこと、遂行不可能なことの強制、仕事の妨害（過大な要求）
5．業務上の合理性なく、能力や経験とかけ離れた程度の低い仕事を命じることや仕事を与えないこと（過小な要求）
6．私的なことに過度に立ち入ること（個の侵害）
7．その他（　　）
8．過去１年間で仕事中に職場内で上記のようなハラスメントを受けたことはない

問 37　あなたが今働いている事業所には、何か悩みがある場合、上司以外に相談できる担当者や「相談窓口」がありますか。（１つを選択）

1．ある
2．ない
3．わからない

問 38　あなたが働いている事業所には、介護の仕事をしている外国人労働者がいますか。
（１つを選択）

1．一緒に働いている
2．（事業所にいるが）一緒に働いていない
3．いない
4．わからない

問 39　外国人労働者と一緒に働くことをどう思いますか。現在一緒に働いていない場合は、想像（イメージ）でご回答ください。
（あてはまるものすべてを選択、12 を選択した方は他の番号を選ばないでください）

1．業務の見直しができる
2．職場に活気が出る（活気が出ると思う）
3．利用者が喜んでいる（喜ぶと思う）
4．業務が軽減される
5．労働力の確保ができる
6．コミュニケーションが取りにくい
7．利用者等との意思疎通において不安がある
8．できる仕事に限りがある（介護記録、電話等）
9．事業所のルールが理解できているか不安
10．生活、習慣等の違いに戸惑いがある
11．その他（　　）
12．特に気になることはない

問 40　過去１年間にあなた自身が被った業務上の事故、怪我等はありますか。（１つを選択）

1．あった　　2．なかった

問 41　あなたは、過去１年間に事故になりかけたヒヤリ・ハット※の経験がありますか。
（１つを選択）

※「ヒヤリ・ハット」とは、結果として事故は発生しなかったが、危うく事故が発生しそうになった状況をいいます。

1．あった　　2．なかった

勤務先の取組についておうかがいします

問 42　現在の勤務先で、過去１年間で業務を離れ、研修や講習会に何回参加しましたか。
（数字を入力、受けなかった場合は「０」を入力）

過去１年間の受講回数　［　　］回

問 43　実務者研修以外の研修の受講状況についておうかがいします。現在の勤務先だけでなく、これまでの受講状況についてお答えください。
（①～⑪それぞれ１つを選択）

	1 受講したことがある	2 ないが今後受講してみたい	3 ない、今後も予定はない
① 認知症介護基礎研修	1	2	3
② 認知症介護実践者研修	1	2	3
③ 認知症介護実践リーダー研修	1	2	3
④ 認知症介護指導者養成研修	1	2	3
⑤ 介護職員初任者研修 （旧ホームヘルパー２級程度）	1	2	3
⑥ 介護福祉士資格取得準備講習	1	2	3
⑦ 福祉用具講座（福祉用具の基礎知識）	1	2	3
⑧ 腰痛予防講座（初任者向け・中級者向け）	1	2	3
⑨ 介護支援専門員向け研修	1	2	3
⑩ 医療的ケア研修（たんの吸引、経管栄養）	1	2	3
⑪ メンタルヘルス研修	1	2	3

問 44　市では、ロボットやセンサー、ＩＣＴ（情報通信技術）の導入による介護現場における業務効率化のための検討を進めています。

このような、①介護ロボット、②センサー（見守り用など）、③ＩＣＴ（介護記録をタブレットなどの機器で入力することなど）について、あなたが働いている事業所では導入していますか。（①～③それぞれ１つを選択）

※ 介護ロボットの例としては、介護する人が腰などにかかる負担を軽減するために装着する機器、要介護者の排せつ物を自動的に処理する機器、癒しやセラピー効果を目的としたロボットなどがあります。

	1 導入している	2 導入していない
① 介護ロボット	1	2
② センサー（見守り用など）	1	2
③ ＩＣＴ（介護記録をタブレットなどの機器で入力することなど）	1	2

問 45　①介護ロボット、②センサー、③ＩＣＴについて、仕事の業務効率化に有効と思いますか。（①～③それぞれ１つを選択）

	1 とても 有効だと思う	2 有効だと 思う	3 どちらとも 言えない	4 有効だと 思わない	5 まったく 有効だと 思わない
① 介護ロボット	1	2	3	4	5
② センサー	1	2	3	4	5
③ ＩＣＴ	1	2	3	4	5

問 46　①介護ロボット、②センサー、③ＩＣＴについて、介護の質の向上に役立つと思いますか。（①～③それぞれ１つを選択）

	1 とても 役立つと思う	2 役立つと 思う	3 どちらとも 言えない	4 役立つと 思わない	5 まったく 役立つと 思わない
① 介護ロボット	1	2	3	4	5
② センサー	1	2	3	4	5
③ ＩＣＴ	1	2	3	4	5

問 47　あなたの勤務先において行われていることのうち、あなたが現在の職場を辞めずに働き続けることに役立っていると思うものはどれですか。
（あてはまるものすべてを選択、21 を選択した方は他の番号を選ばないでください）

※「介護の質の向上」とは、利用者に対して、尊厳確保・虐待防止、ＱＯＬ確保、自立支援に対する配慮等、質の高い介護サービスを提供することによって、その満足度を高めることをいいます。

【労働条件】
1．賃金水準の向上
2．時間外労働の削減
3．有給休暇等の各種休暇の取得や勤務日時の変更をしやすい職場づくり
4．自分の希望や人間関係などに配慮した配置・異動

【仕事の内容】
5．介護の質の向上を図るための価値観や行動基準の共有
6．現場の裁量による創意工夫を尊重するマネジメント

【コミュニケーション】
7．人間関係が良好な職場づくり
8．職場内での仕事上のコミュニケーションの円滑化（面談、ミーティング、意見交換会など）
9．仕事外での職員間の交流の機会の設定
10．悩み、不満、不安などを上司以外に相談できる担当者・相談窓口の設置

【職場環境】
11．事業所の設備・環境を働きやすいものに改善
12．介護ロボット・ＩＣＴ機器等の導入、業務改善等による業務負担の軽減
13．健康対策や健康管理の充実
14．仕事と育児や介護の両立支援
15．託児所設置や保育費用支援等

【評価と能力開発】
16．事業所内でのキャリアアップの道筋の明確化
17．能力や仕事ぶりを処遇に反映
18．事業所内外での研修機会の充実

19．地域活動への事業所としての参加

20．その他（　　）
21．役立っているものはない

問 48　勤務先の勤務制度についてあてはまるものはどれですか。
（あてはまるものすべてを選択、６を選択した方は他の番号を選ばないでください）

※「介護休業制度」とは、要介護状態（負傷、疾病または身体上もしくは精神上の障害により、２週間以上の期間にわたり常時介護を必要とする状態）にある対象家族を介護するための休業制度。
「介護休暇制度」とは、要介護状態にある家族の介護や世話を行うために、労働者が取得できる年次有給休暇とは別に付与される短期の休暇制度。

1．勤務先の介護休業制度を知っている
2．勤務先の介護休暇制度を知っている
3．突然の時間外勤務がない
4．日頃から、有給休暇をとりやすい
5．勤務日時の急な変更に対応してくれる
6．いずれもあてはまらない

問 49　勤務先の仕事と育児を両立させるための休業・休暇・短時間勤務制度等についてあてはまるものはどれですか。（１つを選択）

1．制度があることを知っており、制度を活用しやすい
2．制度があることを知っているが、代わりに担当してくれる職員がいないので制度を活用しにくい
3．制度があることを知っているが、その他の理由で制度を活用しにくい
4．制度があることを知っているが、活用しやすいかどうかわからない
5．制度があるかどうかよく知らない

勤務先への評価についておうかがいします

問 50　あなたの今の仕事や職場には、次のようなことがあてはまりますか。
（あてはまるものすべてを選択、14 を選択した方は他の番号を選ばないでください）

1．福祉に貢献できる
2．利用者の援助・支援や生活改善につながる
3．利用者や家族から感謝される
4．専門性が発揮できる
5．業務改善の機会がある
6．自分が成長している実感がある
7．仕事が楽しい
8．期待される役割が明確である
9．目標にしたい先輩・同僚がいる
10．法人（事業所）や上司から働きぶりが評価される
11．キャリアアップの機会がある
12．生計を立てていく見込みがある
13．収入が安定している
14．いずれもあてはまらない

問 51　現在の仕事の満足度についておうかがいします。（①～⑮それぞれ１つを選択）

	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満足	5 不満足
① 仕事の内容	1	2	3	4	5
② キャリアアップの機会	1	2	3	4	5
③ 賃金水準	1	2	3	4	5
④ 労働時間・休日等の労働条件	1	2	3	4	5
⑤ 人員配置体制	1	2	3	4	5
⑥ 仕事と育児や介護の両立	1	2	3	4	5
⑦ 人事評価のあり方	1	2	3	4	5
⑧ 職場の人間関係	1	2	3	4	5
⑨ 仕事上の相談の環境	1	2	3	4	5

	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満足	5 不満足
⑩ 仕事関係の情報の共有	1	2	3	4	5
⑪ 雇用の安定性	1	2	3	4	5
⑫ 仕事のための設備・機器・用具類	1	2	3	4	5
⑬ 休憩室などの付帯設備	1	2	3	4	5
⑭ 教育訓練・能力開発の機会	1	2	3	4	5
⑮ 職業生活全体	1	2	3	4	5

問 52　あなたの仕事（職種）に関する今後の希望は次のうちどれにあてはまりますか。（１つを選択）

1．今の仕事（職種）を続けたい　→問 52-２へ
2．今の仕事（職種）ではない、介護関係の仕事（職種）に就きたい　→問 52-１、問 52-２へ
3．今の仕事（職種）ではない、福祉・医療関係の仕事（職種）に就きたい
4．介護・福祉・医療関係以外の仕事（職種）に就きたい
5．わからない
→問 52-２へ
6．働きたくない　→問 53 へ

問 52-１　目指す職種はどれですか。（１つを選択）

1．訪問介護員
2．サービス提供責任者
3．看護職員
4．介護職員
5．生活相談員
6．介護支援専門員（ケアマネジャー）
7．ＰＴ・ＯＴ・ＳＴ等
8．その他（　　）

問 52-２　あなたは、今の事業所で働き続けたいですか。（１つを選択）

1．今の事業所で働き続けたい
2．今の法人内の別の事業所に転勤したい
3．別の法人や企業などに転職したい
4．わからない

介護人材の確保・定着の取組についておうかがいします

問 53　市では介護人材の確保・定着に取り組んでいます。行政が行う福祉・介護の人材確保に向けた施策について、どのような支援が必要だと思いますか。（あてはまるもの３つまでを選択、13 を選択した方は他の番号を選ばないでください）

1．介護職のイメージアップ
2．小・中・高校や、生徒の保護者に向けた福祉・介護職の普及啓発
3．一般の大学（福祉系ではない）に向けた福祉・介護職の普及啓発
4．中高年齢層を対象とした就職支援
5．福祉・介護職の職場の紹介
6．無料職業紹介、就職相談会等による就職支援
7．資格取得研修等の開催
8．外国人介護職の就職支援
9．資格はあるけれども働いていない方（潜在的有資格者）の掘り起こし
10．職場環境の改善
11．職員のメンタルヘルスケア
12．その他（　　）
13．特にない

問 54　介護人材の確保・定着にあたり、川崎市へのご意見（アイディア）、ご要望がございましたら、自由にご入力ください。

訪問介護員またはサービス提供責任者以外の方は、以上でアンケート調査は終了です。

ご協力ありがとうございました。

訪問介護員またはサービス提供責任者の方におうかがいします

問 55 は、問８で、あなたの主な仕事（職種）として「１．訪問介護員」を選んだ方のみ、お答えください。

問 55　あなたは、勤務（訪問介護のほか、その準備、報告、研修、会議・打ち合わせなどを含む）のために所属先の訪問介護事業所（事務室）にどの程度出向きますか。（１つを選択）

1．勤務のある日に毎日は出向かず、出向くのは平均月１日未満
2．勤務のある日に毎日は出向かず、出向くのは平均月１日以上～週１日（月４日）未満
3．勤務のある日に毎日は出向かず、出向くのは平均週１日（月４日）～週３日（月 12 日）未満
4．勤務のある日に毎日は出向かず、出向くのは平均週３日（月 12 日）以上
5．勤務のある日は原則として毎日出向く

問 56～問 58 は、問８で、あなたの主な仕事（職種）として「３．サービス提供責任者」を選んだ方のみ、お答えください。

問 56　あなたは、担当する訪問介護員に対して、次のようなコミュニケーションや研修・指導を実施していますか。（①～⑩それぞれ１つを選択）

	1 十分実施している	2 ある程度実施している	3 あまり実施していない	4 実施していない
① 訪問介護員が作成する介護記録・報告書に対する助言・指導	1	2	3	4
② 訪問介護員からの仕事上の課題などに関する相談や指導など	1	2	3	4
③ 訪問介護員の仕事以外の悩みなどへの相談など	1	2	3	4
④ 訪問介護員との日常的な情報交換	1	2	3	4
⑤ 訪問介護員同士が仕事に関して相談や意見交換をできる機会の設定（ミーティングなど）	1	2	3	4
⑥ 新任の訪問介護員に対する同行訪問	1	2	3	4
⑦ 新規利用者を訪問する訪問介護員に対する同行訪問	1	2	3	4
⑧ 事例検討会・カンファレンスの開催	1	2	3	4
⑨ 介護技能向上のための職場内研修・勉強会の実施	1	2	3	4
⑩ 外部の研修会等の受講機会の設定	1	2	3	4

問 57　あなたの就業時間の内訳をおうかがいします。

①　あなたのこの１か月の就業時間を 10 とするとき、以下のア～オの項目はそれぞれどの程度の比率になっていますか。

②　また、自分にとって望ましいと思われる比率はどの程度ですか。

※ 平均的な１か月の状況について、それぞれ合計が 10 になるように、各欄に０～10 の整数（小数点以下は無し）でお答えください。（数字を入力）

	① 現在の比率	② 望ましい比率
ア．訪問介護員に対する調整・指導・研修（同行訪問を除く）		
イ．訪問介護員との同行訪問		
ウ．その他の管理業務		
エ．訪問介護業務（ご自分の担当分）		
オ．訪問介護業務（他の担当者の代行分）		
合計	10	10

問 58　担当する訪問介護員に関して、以下に該当する人数をそれぞれ整数でお答えください。（数字を入力）

①　令和７年 10 月１日現在、担当している訪問介護員の現在数 [　　] 人

令和６年 10 月１日～令和７年９月 30 日の間

②　新たに担当となった訪問介護員の数 [　　] 人

③　担当していた訪問介護員のうち、離職した方の数 [　　] 人

④　担当していた訪問介護員のうち、離職以外の理由で担当外となった方の数 [　　] 人

令和７年度川崎市高齢者実態調査報告書
～ 介護保険事業者・従事者アンケート調査編 ～
令和８年３月

【発　　行】　川崎市 健康福祉局 長寿社会部 高齢者事業推進課
〒210-8577　川崎市川崎区宮本町１番地
電話　044（200）2666

【調査実施機関】　ジェイエムシー株式会社
〒101-0021　東京都千代田区外神田２丁目 18-３
第２昭和ビル６F
電話　03（3525）4407